

災害対策推進・教育センター

VOL.23 2024 年 8 月号 **かわら版**



Topics 傷病者受け入れ体制の際のエリア紹介

当院では、「津市で震度 5 強以上の地震が発生した場合」、あるいは、何らかの災害により「15 名以上の歩行不能傷病者の搬送が必要となった場合」に、**多数傷病者受け入れ体制（災害レベル 3）**をとることになっています。その際に展開されるエリアについてご紹介します。

黒エリア

★霊安室前廊下

死亡もしくは回復の見込みがない病態



トリアージポスト

★病院正面玄関外

傷病者の緊急度や重症度に応じて、トリアージを行う



緑エリア

★正面玄関外（屋根付き）

優先度が低い病態



赤エリア

★病棟 1 階 救急外来

最優先の症例で緊急治療
もしくは直ちに病院搬送が
望ましい病態



黄エリア

★外来棟 1 階 リハビリ室・

リハビリ室前廊下

優先度第 2 位の病態
赤タグの対応終了次第
治療にあたる病態



参照：災害対策マニュアル Ver4.1 P.58

Column

各エリアの担当職員について

エリアごとに事前に担当職員が決められているのをご存じですか？エリア展開をできるだけ迅速に進められるよう、事前に担当が決まっていますので、下記の QR コードから一度ご確認ください。



確認してみてね！

9 月 28 日（土）三重大学防災訓練を実施します

日程：【11:00～12:00】「令和 6 年能登半島地震時の対応」についての講演会

講師：金沢大学 教授 岡島先生

【13:30～17:00】「最大規模の布引山地東縁断層帯地震」を想定した

多数傷病者受入訓練

- ①災害時報告訓練・・・前日（病院の全教職員）→ANPIC での「安否確認訓練」
訓練 1 週間前（病棟＋指定部署）→MINT3 端末からの「発災時報告入力訓練」
- ②災害対策本部訓練・・・被災情報把握、病床管理、情報収集（安否確認、EMIS 入力、発災時報告集計など）
- ③エリア診療活動訓練・・・ID 付与、トリアージ、エリア統括、緑・黄・赤・黒エリア、薬剤交付窓口、各担当診療部、救急車搬入・搬出、近隣自治会協働など
- ④学生訓練・・・エリア診療活動訓練の補助、エアーストレッチャー搬送訓練、AR 浸水体験



Column

昨年の病院防災訓練では、実際にリハビリ室にて黄エリアを展開しました。今年も昨年と同様に訓練を行う予定です。発災後できるだけ落ち着いて行動ができるよう、できるだけ実際に近い形で訓練を行い、災害に備えています。



Column

管理：大学安全・防災・危機管理室

News 保存水を移動しました

水害による浸水や建物損壊等により備蓄が取りに行けなくなるリスクも考えられるため、備蓄を分置配置しておくことはとても大切です。備蓄の保管場所については、「災害対策マニュアル」にも記載しておりますのでぜひご覧ください。



4 階設備室 1



5 階災害医療倉庫



災害拠点病院として地域で一番の災害対策を目指して

